

# こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO  
NEWS

2009・3・1 No.203 発行/〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1  
http://www.kodomo-no-shiro.jp

白い布のようなものがぶらさがっている。表面にある大きなしわ、小さなしわが、それぞれに模様をつくる。立体的な形をしているらしい。中央のかげの部分がくぼんでいる。おくにも、同じものがぶらさがっているのか、トンネルが続いているように見える。  
しわが作りだすかげが、ひとつの白をさまざまに変化させる。明るい白や暗い白、はっきりした白やぼやけた白、やわらかい白やかたい白——いつのまにか、別の白に変化しているところもある。ハンガーにかけられたワイシャツに、たくさんの白がかくれていた。  
(写真:中根静男/文:たかべ としき)



## 〔こどもの城〕の「ビデオライブラリー」

# 楽しみかたいろいろ

〔こどもの城〕には、見たいビデオ作品を選んで見ることができる「ビデオライブラリー」があります。約23,000タイトルの作品がおさめられている「ビデオの図書館」で、毎日たくさん子どもたちが利用しています。今月は、〔こどもの城〕の「ビデオライブラリー」を紹介します。

### “見る作品を選ぶ” “みんなで見る” そのこと自体が〈あそび〉の一部

ビデオライブラリーの利用は、見る作品を選ぶことから始まります。テーマ別に作られている「カタログ」や展示されているケースから、見たい作品を選びます。「電車が好きなんだけど、世界の鉄道のビデオはないかな?」「虫のことを知りたいんだけど、虫の生活がわかるようなビデオはないかな?」と、カタログをめくって見たい作品をむちゅうになって探す子どももいれば、「わたし、これ見たい」「ぼく、こっちのほうがいいな」「それ見たことあるもん」とそれぞれに主張しあって意見がまとまらず、なかなか決められないグループもいます。

「いろいろな意見をたたかかせて作品選びをすることも、子どもたちにとっては〈あそび〉なのかもしれません」とビデオライブラリーのスタッフ。「ゆずりあって決まることもあれば、別々に見ることもある場合もありますが、見る前に作品選びそのものを楽しんでいるように思えます。」

「ビデオライブラリー=ビデオの図書館」と考えると、「ビデオを見る(映像作品と向かい合う)」だけの場所と思いがちですが、ビデオを見るための専用ブースで見る、友だちや家族といっしょに見る——など「見る環境」がかわると、「見る」心がまよまよと変わってくるようです。作品選びをしている子どもたちの様子から、いろいろな楽しみかたをしているのが分かります。ビデオを見る楽しさだけでなく、この場所で、友だちといっしょに見るということに特別な意味があるようです。

「ビデオを借りてきて家でみよう、とお母さんが言っても、今、ここで見たいとぐずる子どもがいます。選んだ作品が見たいのではなく、今の場所で「見る」という〈あそび〉をしたいんじゃないかなと思います」とスタッフ。「ライブラリー(図書館)」という名前ですが、ビデオそのものを見る場所というだけでなく、気の合った友だちや家族と同じ時間に、同じ場所で見ることができる特別な場所なのです。「見る」ことが、ひとつの〈あそび〉になっているのです。

「ビデオを借りてきて家でみよう、とお母さんが言っても、今、ここで見たいとぐずる子どもがいます。選んだ作品が見たいのではなく、今の場所で「見る」という〈あそび〉をしたいんじゃないかなと思います」とスタッフ。「ライブラリー(図書館)」という名前ですが、ビデオそのものを見る場所というだけでなく、気の合った友だちや家族と同じ時間に、同じ場所で見ることができる特別な場所なのです。「見る」ことが、ひとつの〈あそび〉になっているのです。



### 同じタイトルの作品を見くらべる 感じたことを話し合ってみる

童話や昔話の作品のなかには、同じ題名がついていても作りがちがうものがいっぱいあります。「あかすきんちゃん」「ももたろう」などは、アニメもあれば人形劇もあります。絵のえがき方も、幼児向けの絵本の絵のようなものから、リアルなえがきかたをしたものまでさまざま。ストーリーの進め方も、ナレーションに重点をおいたもの、会話や動きに重点をおいたものなど、だれに見せるか、何を伝えたいかによってかわってきます。

### “見る”かたちさまざま

映像を「見る」ためのビデオライブラリーですが、子どもたちはさまざまな形で利用しています。ブースのなかで友だちと「見る」ことそのものを楽しんだり、「見る」ことをとおして興味や関心をもったものへの知識を深めたり、「表現」のひとつである映像に親しんだり——さまざまな形で映像を楽しんでいます。

### 1~5人用の35のブース(小部屋)でビデオを見る

ビデオライブラリーには35のブース(小部屋)があり、1~5人のグループでおちついて見ることができます。それぞれのブースは、音声などがまざらないよう

に区切られています。通路側の出入り口はオープンになっていて、外からなかの様子を見ることができます。ビデオを見るときには、見たい作品を選んで受付カウンターで申し込みをします。指定されたブースに行き、選んだ作品を見ることができます。

### 見られる機会の少ない作品を 〈特集〉で目にふれるようにする

ビデオライブラリーには、たくさんのビデオ作品があります。アニメーションや特撮ヒーローものもあれば、生きものの生態を記録した作品、世界の国・地域を紹介する作品もあります。映像作品が取り上げるテーマははばひろく、アニメや実写、ドキュメンタリーなど作り方もいろいろ。多種多様な作品がそろえられています。たくさんの作品のなかには、子どもたちに人気があってよく見られている作品もあれば、すぐれた作品にもかかわらず知られていないなどの理由から見てもらえていない作品もあります。一般には目にする機会の少ない作品を見ることができるのが、〔こどもの城〕のビデオライブラリーです。

春休みや夏休みなどの特別期間には「特集」を組んで、見られる機会の少ない作品を、より多くの人目にふれるようにしています。これまでに「のりもの」「魚」「車」「宇宙」「鳥」な

どを取り上げてきました。

子どもたちが、見てみようという気持ちになるように、展示物を工夫したり、ゲームや工作を組みあわせていたりしています。見るための「きっかけ」を作る、見てみようかなと思わせるように興味をひくことが、「特集」のねらいです。

「魚特集」のときは、魚のかるたを作って、自然に名前や特徴などを学べるようにしました。めずらしい魚が高ポイントになるようにしておいたので、魚についての知識をえるために「魚のビデオ」をたくさん見た子どももいました。



「魚特集」のときに行った「つりゲーム」

## 2009 とびだせ春休み

### 春休み特別期間

3月25日(水)~4月5日(日)

期間中は毎日開催しています。  
4月6・7日は休館させていただきます。  
開館時間 10:00~17:30  
(休館は17:00まで)  
入館料 ●子ども400円  
(3歳以上18歳未満)  
おとな500円

ありがとうをつたわるこころがうれしいよ  
平成二十一年度  
児童福祉週間標語

## 富士通は、人と地球が 共生できる社会のために 700万トンのCO<sub>2</sub>削減を めざします。

※1: 杉の木5億本分が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に匹敵 ※2: 2010年までの累計削減量

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

### 平成20年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会開く 中高生活動の実践報告もとにディスカッション

#### グループを支援・促進する“ファシリテーション”学ぶ

平成20年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、1月21～23日に「こどもの城」で開かれました。北海道から熊本県まで全国の児童館・児童センターから39人が参加しました。テーマは「これからの児童館活動～中高生世代の“社会参加”と“居場所づくり”について考える～」。0～18歳までの幅広い年齢層を受け入れる児童館活動のなかで、中高生の世代に焦点をあてて講習を行いました。

鈴木雄司東京福祉大学大学院教授は、講義「中高生活動の意義について考える～地域や社会から中高生は何を学ぶか～」で、中高生の地域社会への参加が望まれているなか、中高生を地域社会のさまざまな活動と結びつける働き＝“アダプテット機

能”が児童館などに求められています。中高生の活動は児童館にとって重要であり、児童館活動を発展させるためにも児童館自身が変わっていく必要があるのではないか、と話ししました。

2日目のパネルディスカッション

「求められるこれからの中高生活動とは」では、NPO法人市川市子ども文化ステーション（千葉県）の勝部久美子さんが「地域に根づく～幅広い中高生活動～」、横浜市青少年交流センタ

ーの七澤淳子さんが「幅広い青少年を受け入れる～支援が必要な子どもたち～」、小城市児童センター「ゆう三日月」（佐賀県）の本村桂子さんが「居場所と社会参加の実践～児童館で活動する中高生～」と題してそれぞれの実践活動を報告しました。その後、グループに分かれて意見交換。パネリストも参加者の輪に加わり、“中高生が輝く時”をキーワードに話し合いを進めました。



パネルディスカッション「求められるこれからの中高生活動とは」

講義と演習「中高生活動を広げるファシリテーション」の演習。中央が講師の江上さん。



「中高生活動を活性化するプログラム理解～実践をつなぐ記録を考える～」で、吉澤英子大正大学名誉教授は、記録するためには自分で感じるものが大切であるとしたうえで、記録する際の注意点を講義しました。「洞察」は大切だが「憶測」にはならない、「喜んでいい」ではなく「動きが活発だった」というように、第三者が判断できる“事実”を書くようにするなど、専門職としての児童厚生員に求められる記録の意味や書き方について講義しました。

### こどもの城となかまたち

## 平成21年度 受講生募集中 03-3797-5666

子どもたちの持っている可能性を引き出し、たくましく、健やかに育ってほしいという願いを込め、子どもの“育ち”をサポートする講座・クラブです。親子、幼児（就学前）、小・中・高校生、高校生・一般を対象に、音楽・体育・造形などのコースがあります。詳しいことは、ホームページまたは講座・クラブ受付係（03-3797-5666）へ。

### じょいんクラブ～小中学生のための社会福祉講座 車いす体験などをラリー形式で楽しみました

「じょいんクラブ～小中学生のための社会福祉講座」のメンバーが、「こどもの城」に遊びに来る人たちにも、「福祉」に目を向けてもらおうと、「エンじょいんタカラリー」を2月11日に行いました。

プレイホールをスタートして、館内のポイント回って、プレイホールに戻ってきます。コースは、“やさしいコース”と“むずかしいコース”の2つを用意。小さい子どもでも参加できるように、同じポイントでも、課題の難しさをかえるなどの工夫がされています。

### 3月20日に「ファミリープレイトイタイム～もじであそぼう」

「ファミリープレイトイタイム～もじであそぼう」が、3月20日プレイホールで開かれます。子どもと大人と一緒に、一つの「あそび」に取り組む、家族で参加するプログラム。受付時間は12時30分～16時。

### 3月20日に体育室で「新体操発表会～Discover～」

「こどもの城」の「ジュニア新体操」の講座を受講している小中高生が日ごろの活動の成果を披露する、「第21回新体操発表会～Discover～」が3月20日13時30分から体育室で開かれます。

### 3月22日に行われる第43回バンパー大会

小学生の部（小4～6/10時30分～12時30分）、中高生の部（中1～高3/14～17時）にわかれて、大会を開催します。定員は各30人。プレイホールオフィスで参加申し込みを受け付けています。お問い合わせは、プレイ事業部【03-3797-5661】へ。

夢がいっぱい！あそびにおいでよ！ほくらのこどもの城

からくり忍者やしき

ドリムレンジャー vs ブラックシャドー

オリジナルの“ドッジボール”

ドリム・レター～夢にのせて手紙をかこう～

おぼけやしき

ピンゴの王様

「ドルッチャ・ドリム～夢がいっぱい！あそびにおいでよ！ほくらのこどもの城」が1月24・25日に開かれました。中学生のドルッチャ・ドリム委員会、小学生のドリム・チームが、それぞれの夢を形にした遊びのプログラムを行いました。たくさんの人とふれあいました。

ドリム・ミュージック「飲んだリナト」

回転屋

ドリムメイク

食堂「ハワード閣下」（スタッフ食堂）

小中学生が力をあわせて「ドルッチャ・ドリム」を開催

### 力をあわせて大きな声で「鬼は外！」

「節分会～大まめまき大会」が、1月31日と2月1日にプレイホールで行われました。福の神が節分のいわれを話しているところに、鬼が現れて大暴れ。さらって行ってしまいます。子どもたちは、折り紙の“さんぼう”に年男女に配られた豆を入れて待ちます。福の神を追いかけて鬼が現れると、みんなの力をあわせて、大きな声で「鬼は外！」。鬼を追い払いました。

### 子どもの“作品”とおして活動を紹介

「保育活動展～こどもよう PART 6」が、2月1～15日にアトリウムギャラリーで開催されました。「幼児グループ」（4・5歳児）を中心に、「保育クラブ」の2～5歳児を含めた【こどもの城】の保育活動を紹介します。子どもたちが制作したものや活動中の写真などが展示されています。「保育クラブ」の見学説明会に参加したお母さんたちも熱心に作品を見ていました。

### 地図を片手に「こどもの城」めざす

「健康スポーツ教室」の「駅探しウォーキング」お茶の水駅から【こどもの城】まで、“駅”を見つけながら歩く「駅探しウォーキング」が2月7日に行われました。「健康スポーツ教室」の活動として行われたもので、グループごとにお茶の水駅を出発。相談しながら、地図にある駅名をたよりに経路を決めてウォーキング。駅を見つけるたびに記述の写真（駅名が分かるもの）を撮影。【こどもの城】に向かいました。

■青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

**青山劇場**

- グリーンフィンガーズ  
▽2月23日～3月10日マS席＝9,500円、A席＝8,500円（問）0570-005-556
- カゴツルベ  
▽3月16～31日マS席＝9,500円、A席＝8,500円（問）0570-005-556
- D-BOYS STAGE vol.3  
「鴉～KARASU～04」  
▽4月12～18日マS席＝7,000円、A席＝6,000円（問）0570-00-3337
- 丸尾増食品ミュージカル「アニー」  
▽4月25日～5月10日マS席＝8,000円、A席＝6,000円（問）03-3498-9999

**青山円形劇場**

- 青山円形劇場 オブジェクトシアター Vol.12 「KOUSKY MI～沢村行 meets 中西俊博～」  
▽2月27日～3月1日マ4,000円（当日＝4,500円）（問）03-3797-5678
- 青山演劇 LABO #002 グリム第17回公演「吸血鬼」  
▽3月5～11日マ4,300円（当日＝4,800円）（問）090-8106-8777
- こどもたちからのサウンドメッセージ  
▽3月14～15日（問）03-3797-5663
- Classical ROLLY 2009  
▽3月20～22日マ7,000円（問）03-3797-5678
- TOKYO DANCE TODAY #4 小野寺修二新作公演「あらかじめ」  
▽3月26～29日マ3,700円（当日＝4,000円）（問）03-3797-5678
- ミュージカル・レビュー「ダウンタウン・フォーリーズ VOL.6」

**インフォメーション INFORMATION**

▽4月7～19日マ8,000円（問）03-3498-9999

- 櫻の園～こころから、人生の歩が始まる～  
▽4月22～29日（問）03-5469-5280

**Bスタジオの催し**

- 3月1日 □ドキドキオンステージ 集まれ！タイコのなかまたち 15時30分
- 【こどもの城】の「パーカッション・アンサンブル」のメンバーによる演奏会。体験コーナーもあります。
- 3月8日 □こどもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、13時35分、14時35分、15時35分 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映。11時35分と15時35分はCプログラム、13時35分はAプログラム、14時35分はBプログラム。
- Aプログラム：「マリー」「シンクローミー」「少年と白い鳥」
- Bプログラム：「生きものたちの庭」「カッコーのエドガーさん」
- Cプログラム：「開会の辞」「パッセージ」「世界をめぐる」
- 3月8日 □（音楽ロビー）ドキドキオンステージ サンパ・フェスティバル！ 13時30分
- 【こどもの城】の「レッツ・プレイ・サン

**おもしろビデオ館** 金曜日 15時30分～4時 Bスタジオ

親子で楽しむ「ミニビデオシアター」。2～4歳向けの幼児向け作品を選んで上映。

（楽しい絵本の世界）  
3月 6日：うさぎのマジック  
ちいさなたまねぎさん  
13日：ほんしろうがねらってる おおかみのでんわ